

池田高校 科学部だより

5月号

1 ハリヨを守る会の皆様との対面式を池田町役場にて行いました。



ハリヨを守る会会長竹中武志様と握手をする大久保部長

平成27年5月8日(金)16時より、池田町役場にて池田町長ご同席のもと、池田町八幡のハリヨを守る会（会長、竹中武志様をはじめ5名の役員の方々）と、池田高校（学校長と科学部顧問、部員5名）との対面式が行われました。

池田高校科学部では今年度より地元のハリヨを守る会の活動に参加させていただき、各種の清掃活動や調査、および研究活動に協力させていただきます。

池田町八幡のハリヨを守る会は昭和42年の発足より50年近くにわたって、岐阜県の西濃地区と滋賀県の一部

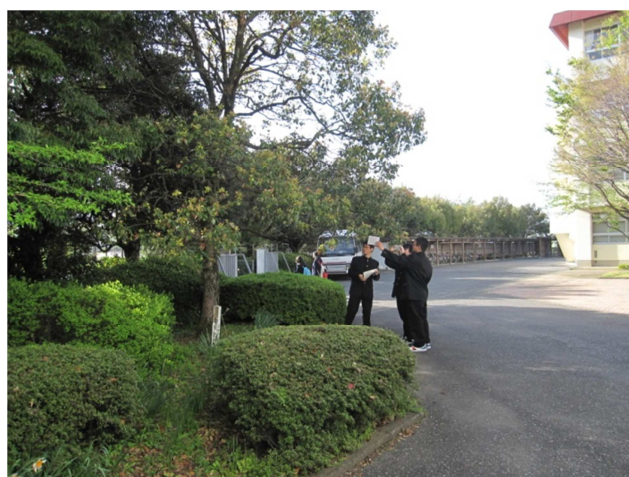
にしか生息していないハリヨの保護活動を続けておられます。このような地元の方々に必死に支えられてきた伝統ある活動に本年度から参加させていただくことを大変光栄に思うのと同時に、同じ地元に住む高校生として活動を未来にもつなげていくために責任を持って活動をしていくことが大切だと思います。是非この活動や、ハリヨという魚について校内のみならず全県、全国に発信し、皆が興味を持ってもらえるようにしたいと思います。



2 池田町の樹種調査を進めています。

今年度の科学部の活動テーマの一つとして、池田町の植生マップの作製があります。池田町にはまだ貴重な林が残っており、地元の高校としてデータを後世まで保存することは大切なことだと思います。

まずは現在校内にある膨大な樹種について調査をし、調べております。来月から神社仏閣の樹種調査に入る予定です。



3 学校周辺の水田生態系の調査をしました。



採取したハウネンエビ(上)とカイエビ(下)

5月18日(月)に学校周辺の水田生態系の調査を行いました。水田内やあぜ道の植物はまだ芽生えの段階で調査は次回に持ち越しますが、しろかきの水が入った水田には多数の動物の生息が見られました。現在はあまり見掛けることの少なくなった※ハウネンエビやカイエビが多数生息しているのが観察できました。水田の生態系に囲まれているのもわが池田高校の特徴の一つです。これからもこまめに調査をし、貴重な生物資源がないか調査を進めていきます。

在校生や学校関係者の皆様、今回採取した水生生物を化学実験室前に展示しています。是非ご覧ください。

※ ハウネンエビ・・・西日本の水田など、水温の高くなる浅い淡水に現れる体長2cmくらいの小型の甲殻類。エビよりはミジンコ等に近い。雌雄とも無色半透明であるが、しばしば美しい緑色を帯びる。ハウネンエビが水田にたくさん発生した年は豊年になるという言い伝えがある。背側を下にして泳ぐ。

<5月の東川水質調査の結果>

5月1日(金)の結果では水素イオン指数(pH)が高すぎて測定できませんでした。おそらく洗剤等が多量に流れ込んだ為であると考えられます。大きなpHの変化は生態系に致命的なダメージを与えます。引き続き調査を行い、東川の水質を見守っていきたいと思います。

また、5月8日(金)の結果では汚染度が高く出ました。(COD=化学的酸素要求量。水中の被酸化性物質を酸化するために必要とする酸素量で示したものです。代表的な水質の指標の一つであり、数字が高いほど汚染度が高いと思われます。)

日付		水温	pH	COD	PO ₄ リン酸塩	NH ₄ アンモニア	NO ₃ 硝酸	NO ₂ 亜硝酸	Cl 塩素
5月1日 16:00	上流	17.0	9.5以上	0	0.05	0.2	0.5	0.05	0.1以下
	中流	17.5	9.5以上	2	0.05	0.2	0.2	0.05	0.1以下
	下流	18.0	9.5以上	0	0.05	0.2	0.2	0.02	0.1以下
5月8日 16:00	上流	20.0	8.5	8以上	0.05	0.5	1.0	0.02	0.1
	中流	19.0	9.5以上	8以上	0.05	1.0	1.0	0.05	0.1
	下流	19.5	9.5以上	8以下	0.05	2.0	2.0	0.05	0.1